

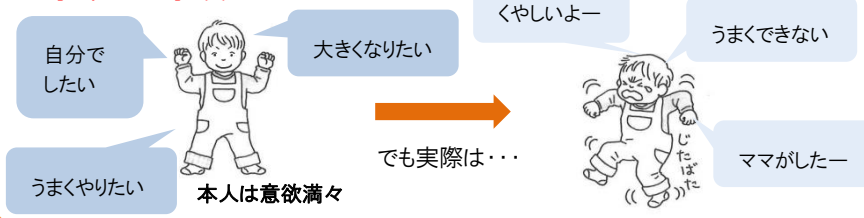


明るく 楽しく 愉快なしつけ

子どもに意欲的になってほしいと願うのであれば、親が「めんどくさ〜い」と言わずに、元気で意欲的な行動みせることが一番です。プラス、肯定的な言葉をかけられたら最高です。

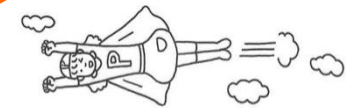
2才頃までは、うまくやりたいという意欲が満々で、かつ自分でうまくできると思いついています。しかし実際には、「できない」とかんしゃくを起こしてしまうことがよくあります。

1才半〜3才頃までは…



そこで

ポジティブ星人参上！！

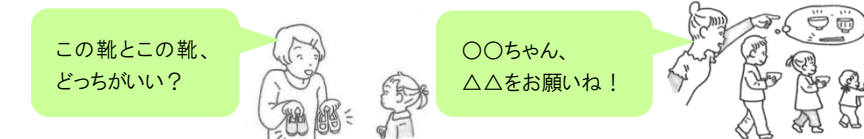


ポジティブ星人は子どもの意欲を生かしながら、上手に援助して、子どもに達成感と自信を味あわせるのだ！

ポジティブ1 《意欲を生かす》肯定的なイメージを伝える



ポジティブ2 《尊重する》選ばせる、頼む、頼ってみる



ポジティブ3 《明るく愉快地に》うたう。オーバーにほめる



子どもは、親の思い通りにはなりません。一度や二度言い聞かせて、「はいわかりました」と学習してくれたらどんなに楽でしょう。子育てすると根気強くなりますね。

秋空が気持ちよく澄み渡る好季節となりました。さて、先月は運動会がありました。台風が心配されましたが無事に開催できました。今年も新型コロナウイルス感染症予防策のため参加は3歳以上児のもも、ふじ、ばら組のみ、保護者の皆さんの人数制限、検温、消毒、参加者名簿の提出をお願いしました。皆さんのご協力によりスムーズに進行することができ、参加した子どもたちは一番カッコいい姿を家族に披露できたのではないかと思います。保護者の皆さんもわが子の普段見られない表情に驚きがあったのではないかと思います。また、いつものとは違う雰囲気に泣いた子、活動に参加できなかった子どもたちも、この経験を土台にして更に成長していくことを信じたいと思います。



すみれ、たんばば、さくら組さんは、保育室内での運動会ごっこを毎日楽しみにし、体をしっかり動かしていました。来年は、小さいクラスの子たちも運動会に参加できるようになっていることを願うばかりです。

これから子どもたちの遊びは、体をたくさん動かした「動」のあそびから、制作あそびやごっこあそびなどの「静」の遊びを好み始めます。「芸術の秋」ということになります。心に余裕ができ、子どもたちならではののおもしろい発想を生かしながら、これらの流れを保育展へとつないでいくこととなります。



ベビーカーでお散歩中



屋上に行く準備OK!

ばら組さんがお相手してくれています



自分で靴を履けますよ



ふじ組さんが育てた、ひまわりの種を取りました



10月の行事予定表

- 6日(水) 音研日本太鼓指導【ばら組】(10:00)
- 7日(木) 第2回内科健診(14:30~)
- 11日(月)~16日(土)オープン保育園
【市内私立保育園】(未就園児対象)
- 16日(土) 園内研究会
- 20日(水) 避難訓練
- 21日(木) ばら組山登り(ばら組のみお弁当)
- 26日(火) 誕生会
- 11日、25日…えいごであそぼう(ふじ組)
- 4日、18日…えいごであそぼう(ばら組)



目の健康

いちばん視力が伸びる乳幼児期ですが、実際に視力を調べる機会はありません。また、この時期の子どもは自分の目に異常があったとしても、なかなか自覚できません。周りの大人が、常に子どもの目に気を配り、守っていきましょう。

視力の発達に重要な乳幼児期

生まれたばかりの時は0.01位だった視力は、生後6週頃からグングンと発達。5歳で1.0以上になり、その後発達の程度は緩やかになり、8~10歳位で完全に止まります。ですから、乳幼児期に、なんらかのトラブルで視力の発達がうまくいかなかった場合、その後視力を伸ばすのはとても難しいということです。日ごろから子どもの目の状態に注意を向け、おかしいと思ったら、早めに受診をしましょう。

こんな行動があったら要注意

- 目を細めたり、しかめたりする
 - 横目でもものを見ることが多い
 - テレビなど、極端に近づいてみる
 - 必要以上にまぶしがる
- 一度眼科を受診してみましよう。

